

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	4	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/英語)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 1 日 ~ 2025 年 8 月 31 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	アイルランド	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標 (※200字以上)	私は自分に甘く、日本にいるとなかなか勉強を行動に移すことができません。そこで、日本語が通じない環境に身を置き、生活の中で英語を使わざるを得ない状況を作ることで、より効果的に学習できるのではないかと考え留学を決意しました。さらに、日本にいると本場の英語を聞ける機会は限られています。海外に行けば多様な国の人々の英語に触れることができ、それがリスニング力の向上につながると考えました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) (※200字以上)	現地到着後すぐにテストを受けてクラス分けされ、パナマやブラジル、中国など多国籍の仲間と交流しながらゲーム形式で文法や単語を学びました。緊張もありましたが仲間と共に楽しく学べました。生活面では早寝早起きが習慣となり、朝はポッドキャストを聞き、授業後は町を散策したり買い物をしたりして過ごしました。帰宅後はホストファミリーと会話やテレビを楽しみ、休日は友人やファミリーと観光へ行きました。多くの出会いに恵まれ、忘れられない一か月となりました。
3. 留学の成果 (※300字以上)	着いた頃に比べると、日常で日本語を耳にする機会が少なかったことや、ホストファミリーが積極的にコミュニケーションをとってくれたことによって、次第に相手の言葉がするすると理解できるようになった気がします。1か月過ごす中で、海外の人は自分の意思をしっかりと伝えるだけでなく、おもてなしの心にあふれていると強く感じました。すれ違っただけの人や少し会話を交わした人でさえ、困った顔をしていれば「大丈夫？」と優しく声をかけてくれました。その温かさに支えられ、とても安心して生活できました。また、誰にでもオープンで親しみやすい性格の人が多く、自然に関わることができました。ホストファミリーの隣人とは特に仲良くなり、私のためにビザパーティーを開いてくれるほどでした。このように温かくアットホームな雰囲気にあふれる人々と過ごした経験を通じて、将来はこうした環境で暮らしたいという思いがいつそう強まりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか (※200字以上)	私は春から関西国際空港で働くことが決まっています。空港では多くの国々の人々と接するため、少しでも英語に慣れ、円滑にコミュニケーションを取れるようになることが大切だと感じました。会話をするにはまず相手の言葉を正しく聞き取らなければなりません。自分の思いを伝えることは気持ち次第である程度可能ですが、聞き取るには耳を慣らすとともに単語や文法をしっかりと身につける必要があります。留学を通して、日常的に英語に触れ耳を慣らすことの重要性を強く実感しました。特にホストファミリーやクラスメイトとの交流を通じて得られたリスニング力は、今後の自分の強みになると感じています。これからはこの経験を生かし、学んだことを維持する努力を怠らず、多くの人と積極的にコミュニケーションを取りながら、習得した文法や単語を実際に使って復習を重ね、実践的な力へとつなげていきたいです。
5. 自由記述	本当に楽しかったので、また行きたいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	2	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/英語)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 1 日 ~ 2025 年 9 月 28 日 (約2ヶ月 週間/か月)					
留学先 (国・地域)	アイルランド	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標 (※200字以上)	私が今回夏期語学研修個人型に参加した理由は、今までの経験を活かし一人でどこまで通用するのか試したかったからです。今までグループで引率の先生がいる中で、海外研修や留学をしてきました。今後長期留学に挑戦したいと思っている私にとって、一人で海外に行き生活する経験は絶対に必要だと思い参加しました。目標は英語力向上はもちろん、今までの反省を活かしホストファミリーとたくさん会話しアイルランドにまた会いに行く家族を作ることでした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) (※200字以上)	学校まではヨーロッパを感じる二階建てのバスで通学しました。現地での授業は朝の9時半からお昼の1時45分まででした。主に午前中は教科書を使用して文章と単語をメインに勉強していました。午後はペアワークが多く、他の国の留学生と様々なことを課題にたくさん話し合いました。またプレゼンテーションでそれぞれのホームタウンについて発表し、新しく様々な国の知識を増やすことができました。放課後は英語を話す時間を増やすために、よくモンゴル人の友達とCity Centerに出て買い物をしたり、カフェに行ったりしていました。また、ホームステイだったのでアイルランドの生活を実際に体験することができました。私のホストファミリーは本当に優しく暖かい人たちでした。週に一回ほどの頻度でアイルランドの伝統的な料理を作ってくれたので、アイルランドの家庭料理を食べることもできました。また、洗濯を一緒にしたり映画と一緒に観たりと、充実した時間を過ごすことができました。
3. 留学の成果 (※300字以上)	Griffith Collegeには様々な国の生徒が在籍しており、本当にたくさんの国の友達と出会うことができました。目標の一つだった海外での友達作りですが、今までで一番素敵な友達をたくさん作ることができました。一番の目標である英語力向上も、友達を作ることができたからこそ、自分の英語力に強く自信を持って日本に帰国することができました。先生やホストファミリーには緊張して質問できなくても、お互いに英語を勉強しているからこそ分からないと思った時すぐに「これはどういう意味なの」と聞くことができ、その場で「分からない」を「分かる」に変えることができました。これが私が英語力に自信を持つことができた一番の理由だと思います。ホストファミリーとも毎日会話し、家事を手伝ったりホストブラザーと遊んだり、アイルランドにもう一度会いに行く家族ができました。新しく発見したことは、アイルランドが本当に良い国だということです。今回アイルランドに留学するまでアイルランドがどういう国なのか正直知らなかったですし、調べてもあまり情報を得ることができませんでした。行くまではヨーロッパをよく知らないこともあり、人に対しても治安についても不安がとても大きかったです。ですが実際にアイルランドで生活してみて思ったことは、イメージとは真逆でした。お店・レストランの店員さん、バスの運転手の方など街中、優しくフレンドリーな方で溢れていました。実際に友達とカフェに行った時、友達のカードが使えず現金も持ち合わせていなかったのですが、次来た時でいいよ！と代わりに支払いをしてくれました。もちろんすべての人がそうではないので、アジア差別を感じることもたまにありました。それでも、アイルランド人は素敵な人たちだと感じるこのほうが圧倒的に多かったです。私の上手ではない英語を聞いて理解してくれ、私が理解できなかった時は簡単な英語に変えたり話すスピードをゆっくりにしてくれました。おかげで2週間もしない内に、英語で話しかけることに抵抗を感じなくなりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか (※200字以上)	今回の留学で得た、英語を話すことへの自信をなくさないようにするために、日本でも海外の方と関わる機会を自分で探して参加していこうと思いました。地元の姫路で、姫路城付近を観光する外国人サポートのボランティア活動に参加できそうなので、そこで英語を使う機会を身近に持ち続けたいと思います。また、アイルランドでできた友達や家族に次回会う時にはもっと会話ができるようになることをモチベーションにして、外国人との会話だけでなく文法・単語勉強や資格勉強にも変わらず取り組んでいきたいと思います。
5. 自由記述	今回初めてすべてのことを一人でしましたが、本当にこの経験のおかげで自信を持つことができました。日本人学生が少なく不安や寂しさもありましたが、自分でどうにかしないと何もできない環境だったからこそ、今までの人生で最も英語力も私自身も成長したのだと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ 1～5 のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

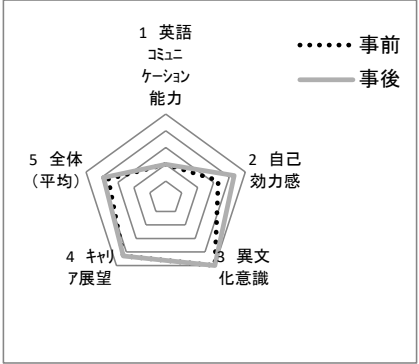
- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2025年度 夏期語学研修(個人型/英語) 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:2名

【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.0
2 自己効力感	3.3	4.3
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.3	4.3
5 全体(平均)	3.6	3.9



【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.2
2 自己効力感	3.5	3.5
3 異文化意識	3.8	3.8
4 キャリア展望	2.8	3.0
5 全体(平均)	3.2	3.4

